

東海環状自動車道の 整備効果

所要時間の短縮

名古屋圏の諸都市がともに連結されることにより、都市間の所要時間が短縮され、利便性が向上します。

※下図内の移動時間は各市役所間の所要時間で、岐阜市・関市は関市役所を基準にしています。また、旅行速度を東海環状70~100km/h、一般道30km/hで算定しています。

■東海3県の主要都市間の所要時間が短縮し連携が強まる



図 東海環状自動車道開通後の沿線都市間の所要時間

災害に強い道路

東海環状自動車道は、海拔ゼロメートル地帯を迂回しており、高架構造が大半を占めるため、河川氾濫等の浸水時にも避難・救助・復旧・復興のための道路ネットワークとして役割を果たすことが期待できます。

■高架構造が大半であるため、避難、救助、復旧、復興活動に寄与

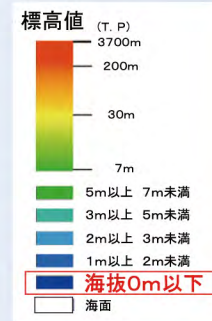
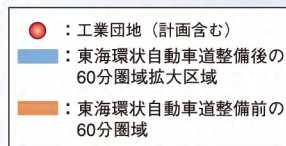


図 東海環状自動車道と海拔ゼロメートル地帯

地域経済活性化の支援

東海環状自動車道西回り区間の整備により、名古屋港・四日市港からの60分圏域が拡大し、名古屋港・四日市港の背後圏への物流の効率化が可能となります。

更に西回り区間沿線において、工業団地の整備・計画が進められており、西回り区間の開通により、沿線市町の地域経済の活性化が期待できます。



() のIC・JCT名は仮称 (R1年度未現在)

デジタルロードマップより名古屋港・四日市港60分圏域を計算
事業数・製造品出荷額は、H17工業統計メッシュデータから計算

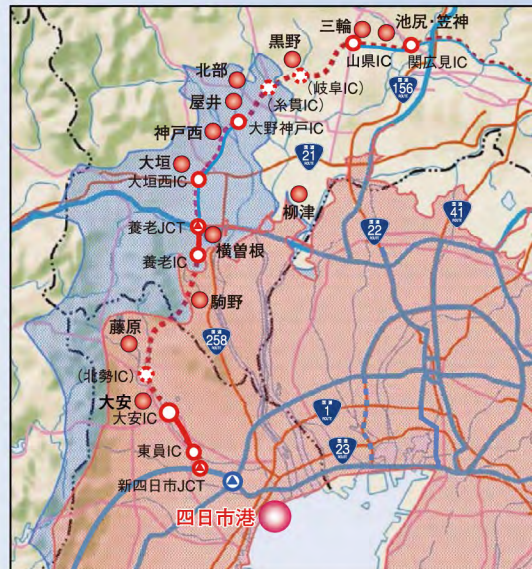


図 西回り区間沿線での工業団地の立地・計画状況および名古屋港・四日市港の60分圏域の拡大

医療機関へのアクセス向上

救命救急センターに30分以内に行ける地域が拡大することで、より多くの方々の生命が守られます。

※出血多量の場合は、30分以内に病院に搬送できれば、5割の方の命が助かるとされています。

出典: カラー救命曲線

東海環状の整備により
桑名・いなべ生活圏における
人口カバー率が上昇
71% → 87%



【救命救急センター】とは…
初期、第二次医療施設の後方病院で、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる医療施設です。



図 地域救命救急センター30分アクセス圏域